

2018年11月5日 仕事のコツは、考えること

※一言要約： 何も考えず行う作業は、仕事ではない？

仕事をするにあたり心掛けるべきこと、うまくいかせるために考えた方がよいことについて、以下に述べます。

1. 事実に基づき判断する

常に判断の基準は、「事実」であり、「理論や道理」です。

単なるその人の思い込みや、感覚や好き嫌いで判断すると、間違った判断になってしまうことが多くあります。このことは、冷静な状態であると、そんなことは当たり前とみんなが理解しています。しかし、慌てているとき、想定外の事態に遭遇しているときは、冷静でいられるとは限りません。この時に常に頭に思い浮かべることが、「事実」に基づいているのかと、自問自答することです。事実は、誰もが否定することができないもので、誰もが認めざる終えないものです。

また、誰もしが納得できる判断の基準は、「理論や道理」です。我田引水的な個人の感覚だけや身勝手な判断だけでは、誰もついてくる人はいないでしょう。

2. 目的を忘れない

常に「この仕事は何のためにやっているのか(目的・狙い)」を考えること。時には、手段や行動自体が目的になってしまっていることがよくあります。

生産性を向上するために、ある設備を導入することを決めた時を考えてみましょう。単にその設備の導入が終われば目標は達成したことになるのでしょうか。いやその設備を使いこなして、生産性が向上したら目標が達成したことになるのです。つまり設備導入は手段であり目標ではないので、間違いなく、目標を忘れてはなりません。

3. 相手を思いやる

お客様、上司、同僚、部下などの仕事の相手の立場を理解し、何を考えているのか、何を求めているのかを読む・考えることが、「思いやり」や「信頼(WIN/WIN)」の関係を築くための必須条件です。コミュニケーションの基本です。

自分の思いをぶつけるのはいいですが、相手の反応が読めないと我田引水となり、自分が如何に正しいと思っても、仕事がまともに進められないと考えられます。